

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	転写制御を担うエピゲノム調節の分子機構の解明
研究代表者	加藤 茂明
審査の所見	応募者は、これまで核内受容体研究で国際的に高い評価を受けてきた。本研究は、応募者のこれまでの豊富な実績を基盤に綿密に計画された、全く新たな転写制御を担うエピジェネティクス調節の、総合的かつ独創的な計画となっている。新たなエピジェネティクス修飾の同定や複合体の解析を含む転写制御分子機構の解明は、生命科学の基礎と様々な疾患発症のメカニズムを理解する上で重要である。加えて、応募者は研究遂行能力にも優れており、世界をリードする成果が期待できると考え、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。